

働く側、雇う側それぞれの立場で考える

「がんと就業」シンポジウム2019

～必要な支援、体制とは～

2019年 **12/11** (水)

13:30～16:30 (13:00開場)

日本人の2人に1人が「がん」に罹患すると言われており、20代後半から罹患率は上がっていきます。今回、働く側、雇う側双方の身近にある「がんと就業」について、専門家、当事者の話から、「がんと就業の両立支援」について皆様と一緒に考えます。

第1部

13:30～14:10 基調講演

「がん患者さんの働き方改革

～最新のがん治療と就労・両立支援～

大阪国際がんセンター
副院長
東山 聖彦 氏



1954年生まれ。1980年、大阪大学医学部医学科卒業。1989年より大阪府立成人病センター呼吸器外科兼任。2017年4月、大阪国際がんセンターへ施設名称改称し、現在、副院長（相談支援センター長兼任）。日本肺癌学会監事・評議員、日本呼吸器外科学会評議員などの学会活動に加え、大阪府がん診療連携協議会地域連携部会・相談支援センター部会、両部会の長を務め、大阪府のがん対策において重要な役割を担う。

第2部

14:10～14:25 大阪府からのお知らせ 「がん検診」ほか

一口にがん検診と言っても様々あり、「効果のあるがん検診」を行わなければ意味がありません！効果のあるがん検診とは？社内受診率100%に向け企業が出来ることは？大阪府の健康づくり課担当者がわかりやすく解説します。

第3部

14:35～16:30 パネルディスカッション「病氣(がん)になっても働き続けられる社会とは」

雇う側



株式会社山田製作所 代表取締役会長
山田 茂 氏

1962年生まれ。1986年に阪南大学商学部卒業後、工作機械の商社に就職。1994年、父が経営する(株)山田製作所に入社し、2001年に代表取締役社長に就任。同社社員が白血病（血液のがん）に罹患した際、社員同士で仕事を教え合い、一人ひとりの「多能工化」を進めることで、ほかの社員が仕事を穴埋めし、患者の就業継続をサポートする取り組みを実施。また、骨髄移植ドナーとしても、り患者のサポートも行っている。今年7/31の設立50周年を機に代表取締役会長に就任し現在に至る。

働く側



大阪肝臓友の会 副会長
浅尾 元明 氏

1954年生まれ。1989年、静岡大学工学部を卒業後、三洋電機株式会社入社。2007年B型肝炎ウイルス由来の肝細胞がんを発症。がん摘出手術、抗がん剤治療を受けるも半年後に再発・全身転移し、ステージ4の末期状態となる。その後、がんサバイバーとして就労しながら各種治療法に挑戦し、最終的に分子標的薬にして寛解となる。現在、大学の非常勤講師をしながら患者会活動に従事。

支援側



大阪労災病院 がん相談支援センター 師長
奥田 ゆり子 氏

平成9年大阪労災病院入職。平成15年緩和ケア認定看護師資格取得。平成19年に同病院内の「がん相談支援センター」立ち上げに従事。平成28年に認定がん相談員取得。現在は、がん相談支援センター師長として、多くの患者の方からの日常生活の困りごとや、就労に関する相談、セカンドオピニオンに関する相談に応じる傍ら、がんに関する情報提供も行っている。

グッドニュース発信塾 塾長
大谷 邦郎 氏

株式会社毎日放送にて記者、ラジオ報道部長、宣伝部長、人事局キャリア推進部長を歴任。情報発信に関する独自のノウハウを蓄積し、様々な研修を手掛ける。2016年10月末、毎日放送を早期退職・独立。追手門学院大学「笑学研究」客員研究員。著書に「HEROES～車椅子ダンスの軌跡～」など。平日はほとんど休む日～渡航移植が残したも～「ICU・集中治療室物語～プロフェッショナルたちの静かな闘い～」等

ファシリテーター



会場

エル・おおさか 本館 10階 大阪市中央区北浜東3-14

京阪・Osaka Metro 谷町線「天満橋駅」より西へ300m / 京阪・Osaka Metro 堺筋線「北浜駅」より東へ500m



お申込み
お問合せ

OSAKAしごとフィールド 中小企業人材支援センター

TEL: 06-6910-3765 【平日】9:30～18:30(17:30受付終了)

MAIL: kigyuu@shigotofield.jp/ FAX: 06-6910-3781

しごとフィールド 中小企業

こちらからも予約可能です→

